

2015年10月15日
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

日本コークス工業株式会社向けCOG脱硫設備の竣工・本稼働について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 藤原 真一、本社：東京都品川区 以下、当社）製鉄プラント事業部（事業部長 白石 宏司 取締役常務執行役員）が日本コークス工業株式会社（以下、日本コークス工業）より受注し、日本コークス工業株式会社北九州事業所（福岡県北九州市若松区 以下、日本コークス工業北九州事業所）に建設したCOG脱硫設備が竣工、2015年3月より本稼働し、以降順調に稼働を続けております。

本設備は、コークス製造の際に発生するコークス炉ガス（以下COG）中に含まれる不純物（硫化水素等）を当社の高効率湿式脱硫プロセスによって取り除く環境対策に必須の設備であり、現在精製後のCOG中、硫化水素濃度はほぼND（未検知レベル）と国内最高レベルの脱硫率を誇っております。

精製後のCOGは、各種燃料として有効利用されています。また、本COG脱硫設備において硫黄スラリー・硫黄塩として回収された不純物は同設備内の燃焼炉にて燃焼し、SO_xガスの形で後段の硫酸製造設備へと導入され、硫酸の原料として有効利用されます。

日本コークス工業北九州事業所は、従来、真空炭酸ソーダ法+乾式脱硫法によるCOG脱硫設備を有しておりましたが、設備の老朽化が進み、設備更新の際、国内でも実績があり低ランニングコストである当社の高効率湿式脱硫プロセスを今回採択いたしました。

本工事は、稼働中の既設設備の空きスペースに新設設備を短工期で建設する非常に難易度の高い工事でしたが、日本コークス工業、協力会社と一丸となり完全無災害にて工事を完工し、且つ国内最高レベルの脱硫性能にて環境意識の高い日本コークス工業に貢献が出来た事をプロジェクト関係者一同非常に嬉しく思っております。

当社は、日本の製鉄業で培った環境・省エネに強みのある本設備を、国内のみならず、北京中日聯節能環保工程技術有限公司（BE3）と協業し、中国においても積極的に展開し、中国鉄鋼・コークス業界の発展及び環境保護にも貢献する所存です。



【設備全景】

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上